









NDIR方式CO2センサ

メンテナンスフリー、コンパクト、ローコストCO,センサ



センスエア社は"メンテナンスフリー"、 "コンパクト"、"ローコスト"を基本 コンセプトとして、1986年に先進の NDIR(非分散型赤外線吸収法)方式 ガスセンサの開発をスタートしたCO2 センサのエキスパートです。



パテント(JP3990733)取得済みの ユニークな光学測定チャンパーOBA (Optical Bench Assembly)は CO2センサの機械・光学的安定性を 保証し、最大限の信号受光特性と センサのドリフト除去性能を支えており、 これにより15年超のセンサ予測寿命と 高い安定性・精度のCO2濃度測定を 実現しています。



センスエアNDIR方式COzセンサは すでに数百万個を超える累計生産台数 を誇っており、欧州議会、クレムリン、 ヒースロー空港など数多くの欧米の 著名な建物、施設に設置されその多くが 現在も稼動しています。





株式会社サカキコーポレーション

ポータブルCO2+温度計 PSENSE

0~2000ppm、RS232C出力



00-0-0015

CE

ローコスト、ハンディタイプの CO_2 計です。簡単な操作で周辺雰囲気の CO_2 濃度と温度を大型LCDに表示します。MAX、MINのほか、TWA(時間加重平均)、<math>STEL(短時間暴露許容濃度)も表示でき、警報ブザー、デジタル出力機能も内蔵しています(RS232C)。

NDIR (非分散型赤外線吸収法)方式、測定範囲0~2000ppm CO₂濃度+温度(·10~+60)を大型LCDに同時表示 MAX、MIN、平均値、TWA、STELを演算表示 RS232出力機能、自動自己診断機能、警報ブザー内蔵 24時間超の電池寿命、簡単校正

0~5000ppm+温度+湿度測定

CO2+温度+湿度計 pSENSE-RH



00-0-0016

CE

温度、湿度も同時に測定・表示できる0~5000ppmレンジのローコスト、ハンディタイプCO2計です。MAX、MINのほか、TWA(時間加重平均)、STEL(短時間暴露許容濃度)も表示でき、警報プザー、デジタル出力機能も内蔵しています(RS232C)。

NDIR (非分散型赤外線吸収法)方式、測定範囲0~5000ppm CO₂+温度(-10~+60)+湿度(0~99.9%RH)同時表示 MAX、MIN、平均値、TWA、STELを演算表示 RS232出力機能、自動自己診断機能、警報ブザー内蔵 24時間超の電池寿命、簡単校正

со,ァラーム計 SenseAir®Alarm

0~3%CO2濃度測定、警報機能付



 \blacksquare (\in

07-2-0009

軽量、ポケットサイズのCO,アラーム計です。周辺雰囲気のCO,濃度を高精度に測定し、見やすい大型LCDにCO,濃度の現在値と8時間のTWA(時間加重平均)値の両方を表示します。内蔵のデータロガー、アラーム機能、ブザーにより、安全性モニターに極めて有用なCO,アラーム計です。

NDIR (非分散型赤外線吸収法)方式、測定範囲0~3%vol. CO2濃度の現在値と8時間TWA(時間加重平均)値を表示 危険レベルを緑 黄 赤の5段階LED表示 自動自己診断機能、警報ブザー内蔵 内蔵ロガー機能とフリーソフトによるデータロギングが可能 内蔵充電池にて12時間超の連続使用が可能

ハンディタイプCO2計 SenseAir®

0~6000ppm測定、ロガー機能付



07-1-0038

 $C \in$

ハンディタイプの CO_2 濃度計です。簡単な操作で周辺雰囲気の CO_2 濃度と温度が高精度に測定できます。内蔵のロガー機能により、工場、研究所、農業、空調業界、労働環境調査など幅広い用途において、屋内空気質の目安である CO_2 濃度の測定・モニター用として便利な CO_2 計です。

NDIR(非分散型赤外線吸収法)方式、測定範囲0~6000ppm CO₂濃度と温度の現在値を大型LCDに同時表示

CO2濃度を緑 黄 赤の5段階LEDでレベル表示

自動自己診断機能内蔵

内蔵ロガー機能とフリーソフトによるデータロギングが可能 内蔵充電池にて12時間超の連続使用が可能

ポータブル測定器 SenseAir®Alarm、SenseAir®、pSENSE、pSENSE-RH のテクニカルデータ

	SenseAir [®] Alarm	SenseAir	pSENSE	pSENSE-RH	
CO₂測定:					
動作原理		N D I R (非分散型赤外線吸収法)	方式、アルミ蒸着処理光学セル		
ガスサンプリングモード		拡散	方式		
応答時間(最終変動の63%)	拡散時	問2分	約3	0秒	
測定範囲	0 ~ 3 % v ol.	0 ~ 6000ppm	0 ~ 2 0 0 0 p p m	0 ~ 5 0 0 0 ppm	
拡張測定範囲(表記精度の対象外)	3 ~ 10% vol.	6000 ~ 10000ppm	2001 ~ 9999ppm	5001~9999ppm	
精度(+25、通常圧力にて)	±200ppm ±読み値の3%	±30ppm ±読み値の3%	± 75ppm ± 5%rdg.	± 3 0 ppm ± 5 %rdg.	
気圧依存性		通常気圧からのずれに対	し てk Pa 当り + 1.6 % rdg		
バックグラウンド校正	新鮮な空気に	よる自動校正	新鮮な空気によるマニュアル校正		
温度測定:					
測定範囲	-	0 ~ 5 0	-10~	+ 60	
精度	-	±0.5 (ACアダプター非接続、 本体吊り下げ状態にて)	± 0	. 6	
湿度測定:					
測定範囲	-	-	-	0 ~ 99.9 % R H	
精度	-	-	-	±3%RH(25 、10~90%R	
LCDディスプレー表示項目	CO ₂ 濃度(%vol.)、CO ₂ 濃度 8時間TWA値、電池充電状態、 センサの状態表示	CO₂濃度(ppm)、空気温度、 電池充電状態、センサの状態 表示、換気レート(ユーザー設定)	CO ₂ 濃度(ppm)、空気温度、 8時間TWA値、15分STEL値、 MAX、MIN値、電池充電状態	CO ₂ 濃度(ppm)、空気温度、 湿度(露点、湿球温度)、8時間 TWA値、15分STEL値、MA	
	TWA(時間加重平均): 通常の	 8時間労働または40時間週労働にわた	MAA、MININE、電池充電が感 たって時間平均値を求めた許容し得る。 刺激や損傷を受けずにすむ濃度(一般		
アラーム/測定インターフェース:					
	5段階緑-黄-赤LED表示	、СО,濃度現在値および			
LED	設定コンパレータレベルに	こよる。	-	-	
可聴アラーム	共振周波数2kHzブザー	-	8 0	d B	
ロガーおよびソフトウェア:					
内蔵データロガー(クロック内蔵)	CO ₂ 濃度およびTWA値のデータ ロギング、各580データ	C O₂濃度および温度のデータ ロギング、各896データ	-	-	
デジタルインターフェース	R S 2 3 2 C (草	- 専用コネクタ)	RS232C(ソフトウェアおよび	· 接続ケーブルはオプション)	
PCソフトウェア	フリーソフトウェア"UIP-P"(Windows OS対応): ユーザーオプションの定義、センサ校正のサポート、ログデータの 転送および保存、ログデータのトレンドカーブ表示		専用ソフトウェア(オプション) Windows OS対応		
電源:			T		
電源		リチウムイオン充電池	単3乾電池×4		
電池寿命	1	> 12時間 (再充電可能期間約3年)		> 2 4 時間	
A Cアダプター	D C 6 V 1.5 A		D C 9 V 1 A		
その他一般特性:			T		
適合規格	EMC指令89/336EEC、RoHS指令2002/95/EG		EMC指令89/336EEC、RoHS指令2002/95/EG		
保存温度範囲	-20 ~ + 70		-20 ~ +60		
動作温度範囲	0 ~ + 50		0 ~ + 5 0		
動作湿度範囲	0 ~ 95%RH(結露なきこと)		0 ~ 95 % R H (結露なきこと)		
予測センサ寿命	>15年		> 15年		
自己診断	電源/センサ/内部チェック、メンテナンス通知アイコン表示		エラーメッセージ表示		
ウォームアップ時間	< 30秒(フルスペック<15分)		< 30秒(フルスペック<15分)		
ケース材質	A B S / P C 混合		A B S / P C 混合		
外形寸法(L×W×D)		× 3 2 m m	210 × 70 × 58 mm		
重量		5 g	1 8	0 g	
	本体、リチウム電池(内蔵)、ACアダプター、 ソフトケース、RS232C通信ケーブル、取扱説明書		本体、単3乾電池×4個、キャリングケース、取扱説明書 A C アダプター、湿度校正キット (00-0-0017)		
標準セット構成品					

ABCアルゴリズム

センスエアCO₂センサはメンテナンスフリーです。このメンテナンスフリー動作は独自の"ABCアルゴリズム"(Automatic Baseline Calibration)によってサポートされています。一定の時間・期間内にサンブリングされたCO₂濃度の最小値を、ソフトウェアによって設定された基準値にゆるやかに補正し、CO₂センサの長期的な自動校正を行います。ABCアルゴリズムの各パラメータはセンスエア社の研究と実績から得られた最適値に設定されています。



00-0-0022

簡易ゼロ校正キット

ゼロ校正器は、ソーダライムの化学的な吸収作用を利用して、COzを含まないゼロ校正ガスをチューブを通してCOzセンサへ送出します。フル充電で約15時間使用でき、ソーダライムの消耗状態、内蔵電池の充電状態、ゼロガスのポンピング状態などをLED表示します。



SADKinterface

モジュール開発キットSADK SADKはセンスエアCO2センサモジュール に接続し、センサの出力構成、校正条件、 ABC機能など、モジュールの様々な機能・ 構成パラメータの表示、設定に使用します。 測定データのロギングも可能で、キットにはソ フトウェア、接続ケーブル、取扱説明書が付属しています。

CO₂専用、汎用・ローコストモデル

最新のNDIR方式を採用したメンテナンスフリー、ローコストの 汎用 C O 2 濃度トランスミッタ。ハウジングの選択により、居住環 境、一般産業環境および空調換気ダクトへの設置が可能です。 雰囲気空気のCO2濃度を2000ppmまでの範囲で高精度に測 定し、測定データをリニアな2系統のアナログ信号に変換し、出 力します。

NDIR (非分散型赤外線吸収法)方式

測定範囲0~2000ppmCO2(注文時指定により0~3000ppm) 2系統アナログ出力(0~10V)(ジャンパー切換により4~20mA出力) (機種により1出力もあり)

自動自己診断機能内蔵

通常のIAQ(屋内空気質)環境ではメンテナンスフリー 壁掛型、ダクト型、多用途型、3種類のハウジングオプション



eSENSE® - Duct-Disp ダクト型ディスプレー付 H 1 4 2 × W 8 4 × D 4 6 mm 保護等級: IP65 ダクトプローブ長さ: 245 mm (調整可)



050-8-0003

eSENSE® - Slim 多用途型 H 1 0 6 × W 6 7 × D 2 6 m m 保護等級: [P50 接続: 34cm3線ピッグテール (OUT2なし) 壁掛、ダクト取付け兼用

050-8-0026	eSENSE [®] - TR	ディスプレーなし、抵抗式温度センサ用端子
050-8-0036	eSENSE® - Disp-OUT1=0~5V	ディスプレー付、 OUT1= 0 ~ 5 V、 OUT2= 2 ~ 1 0 V
050-8-0061	eSENSE [®] - FAI	ディスプレー付、アラームブザー・LED付
050-8-0004	eSENSE [®] - Duct	ダクト型、ディスプレーなし
050-8-0047	eSENSE® - Duct-OUT1=0~5V	ダクト型、ディスプレーなし、OUT1=0~5V
050-8-0032	eSENSE [®] - Ind	壁掛型、IP54、ディスプレーなし、プローブなし
050-8-0033	eSENSE [®] - Ind-Disp	壁掛型、IP54、ディスプレー付、プローブなし
050-8-0045	eSENSE® - Slim-Out1=0~5V	多用途型、ディスプレーなし、OUT1=0~5V

消費を低減し、光熱費の節約に大いに貢献します。

eSENSE[®]はビル空調その他、信頼性の高いCO₂測定と測定デ

ータのアナログ電圧出力を必要とする多くのアプリケーションにお いて極めてコストパフォーマンスの高いセンサソリューションです。

換気システムのオンデマンドコントロールにより、エネルギー消費

の低減と屋内空気質の健全化に貢献します。3種類のハウジング

のオプションにより、eSENSE®はほとんどすべての用途・環境に

対応し、より健康な屋内空気質環境を作り出すと共にエネルギー

050-8-0002

eSENSE[®]

壁掛型IP30ディスプレーなし

H100 x W80 x D27mm

CE

CO2+温度コントローラ aSENSE®VAV

CO2+ 温度測定、制御動作設定可

雰囲気中あるいはダクト内のCO2濃度と温度の両方が測定でき るトランスミッタ・コントローラです。アナログ(電圧または電流2出 力)、シリアル、リレー、オープンコレクタ出力を備えており、これ らの出力信号はダンパー、可変速ファンなど、制御目的に応じ た組合せ、構成が可能です。セットポイントの設定や制御動作 は専用フリーソフトを使用してPCからプログラムできます。

NDIR (非分散型赤外線吸収法)方式 測定範囲CO2濃度0~2000ppm、温度-20~+60 豊富な出力構成による多様な外部機器の制御: アナログ(2出力)、シリアル、リレー、オープンコレクタ出力 オプションにてRS485通信も可能 通常のIAO(屋内空気質)環境ではメンテナンスインターバル5年超



040-8-0016

aSENSE VAV -Disp 壁掛型IP30ディスプレー窓付 H120 x W82 x D30 mm



050-8-0005

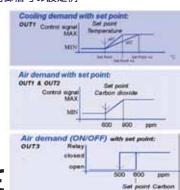
eSENSE®-Disp

壁掛型IP30ディスプレー付 H 1 0 0 × W 8 0 × D 2 7 m m

040-8-0024

aSENSE[®]VAV -Duct -Disp ダクト型IP65ディスプレー付 H142×W84×D46mm プローブ長さ: 245mm (調整可)

制御信号の設定例



aSENSE®VAVは学校や保育園、映画館や劇場、スポーツセンタ など人の増減のある部屋や空間において、省エネルギーと健康 な環境作りに役立つCO2・温度トランスミッタ・コントローラです。 様々な換気方式や外部機器に柔軟に適応できる出力構成を備え ており、COz濃度が変化する場所での健全な環境の制御におい てaSENSE®VAVはキーとなるトランスミッタ・コントローラです。量 産オプションにて高濃度測定範囲にも対応でき、一般居住環境 のみならず、農業、産業分野での制御用途にも対応します。

040-8-0011 aSENSE VAV - Hdisp	ディスプレー窓なし
040-8-0010 aSENSE®VAV - Disp SL	ディスプレー窓付、カバー蓋ネジ付
040-8-0040 aSENSE®VAV - Hdisp MB RS485	ディスプレー窓なし、Modbus RS485通信

COz+温度トランスミッタ aSENSE®

CO₂ + 温度同時測定、汎用モデル

ビルその他の居住環境におけるCOz濃度および温度の測定、 制御用に設計されたデジタル回路、ローコストのトランスミッタで す。測定データをリニアな出力信号に変換して外部のBMSシ ステムやコントローラに送ります。電圧または電流出力の切替が ジャンパーで行えます。COzガスによる危険が予想される場所 では、費用効率の良いガスアラームセンサとしても役立ちます。

測定範囲CO2濃度0~2000ppm、温度-20~+60 アナログ出力(0~10V)(ジャンパー切換により4~20mA出力) シリアル通信ポートを標準装備(専用ケーブル必要) 自動自己診断機能内蔵

通常のIAQ(屋内空気質)環境ではメンテナンスインターバル5年超 PCBコート、フィルタ装備のグリーンハウス用 aSENSE® - GH-Disp



aSENSE® - Ind Disp RL 産業用壁掛型、ディスプレー付 H 1 4 2 × W 8 4 × D 4 6 m m 保護等級: [P54

aSENSE® - GH-Disp グリーンハウス用、IP54、 H142 × W84 × D46 mm

ディスプレー付 040-8-0063



045-8-0031

aSENSE® - Duct-Disp ダクト型、ディスプレー付、IP65 H 1 4 2 × W 8 4 × D 4 6 m m

プローブ長さ: 245mm (調整可)

2濃度は1040ppmとなります。このため、屋内空気質(IAQ)の指 標として1000ppm未満の濃度が一般的に目標値とされます。 040-8-0029 aSENSE[®] - MB RS485 ディスプレーなし、Modbus RS485通信 aSENSE - MB RS465
aSENSE - Disp RL
aSENSE - Disp LON
aSENSE - Disp MB RS485 LOG ディスプレー付、リレー出力 045-8-0025 040-8-0096 ディスプレー付、LonWorks通信 040-8-0091 ディスプレー付、Modbus RS485、 ロガー機能 aSENSE® - 10% Disp ディスプレー付、測定範囲0~10%vol 040-3-0002 045-8-0019 aSENSE® - Duct ダクトタイプ、ディスプレーなし

aSENSE®は測定したCO2濃度と温度のデータを換気システムの 主装置あるいはDDC(ダイレクトデジタル制御)に送信して、換気 をコントロールする目的で設計されており、換気の様々な制御方

人が比較的長く留まる部屋では、少なくとも1人1秒当たり7 の新

鮮な空気流が必要とされています。成人が軽作業を行っており、

屋外のCOz濃度が350ppmの場合、この空気流量では屋内CO

045-8-0001

aSENSE[®]

壁掛型IP30ディスプレーなし

H120 x W82 x D30mm

式に柔軟に対応できます。

CE

CO2+COトランスミッタ aSENSE®MIII

CO2+CO同時測定、警報出力可

二酸化炭素および一酸化炭素の両方を同時に測定・モニター できるトランスミッタ・コントローラです。フリーソフトによる本体の プログラムにより、アナログ、シリアル出力に加えて、設定濃度 値に対する警報信号の出力も可能です。自立型 C O 2 + C O コ ントローラとして、あるいはビルなどの自動空調システムのセン サとしてご使用下さい。

CO2濃度(NDIR方式)およびCO濃度(電気化学式)の同時計測 測定範囲CO2濃度0~2000ppm、CO濃度0~100ppm 豊富な出力構成による外部機器の制御:

アナログ(電圧/電流)、シリアル、リレー、オープンコレクタ出力 シリアル通信ポートを標準装備(専用ケーブル必要) 自動自己診断機能、動作·状態表示LED内蔵

専用ソフトの出力・設定モニター画面





aSENSE[®]MIII-Disp 壁掛型iP54ディスプレー付 H150 × W85 × D46 mm



045-8-0002

aSENSE®-Disp

壁掛型IP30ディスプレー付

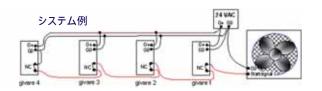
H120 x W82 x D30mm

040-8-0066

aSENSE®MIII - Duct-Disp ダクト型IP65ディスプレー付 H142 × W84 × D46 mm

aSENSE® MIIIは、公共駐車場、トンネル、鉱山など、燃焼が潜在 的な危険となるような比較的大きな空間・環境の多くのアプリケー ションに使用できます。二酸化炭素と一酸化炭素の同時測定が 可能なため、公衆安全の確保に役立つのみならず、デマンドコン トロール換気システムに使用した場合は、エネルギー節減にも大 いに貢献します。

aSENSE®MIIIは大規模なシステムの端末センサとして、あるいは、 換気システムを制御するための自立型センサとして使用できます。 例えば、対象が大きなスペースの場合、複数のセンサを簡単なリ レーループで連結し、排気ファンなどを制御することもできます。



設置型トランスミッタ・コントローラ eSENSE® aSENSE® vav. aSENSE®MIII のテクニカルデータ

	eSENSE [®]	aSENSE [®]	aSENSE [®] VAV	aSENSE [®] mIII
一般性能:				
適合規格		EMC指令89/336/EEC、	RoHS指令2002/95/EG	
動作温度範囲 注1		0~+	-50℃	
保存温度範囲	-40~+70°C, -20~+70°C(ディスプレー付 " -Disp モデル")	-20~	+70°C
保存湿度範囲	130, 20 1100(0~95%RH		
動作環境			産業施設環境 ^{注2}	
.,.,,				= 0 / Et tie (Lore erbat = 0 oz. 1
ウォームアップ時間	<1分(フルスペック≦15分)		ペック≦10分)	<15分(長期非通電時15分以上
センサ予測寿命		>15年		>5年 ^{注4}
メンテナンスインターバル		>5年 注3		COセンサの制約による ^{注4}
自己診断機能		センサの格	能チェック	
ディスプレー(" -Disp モデル")	4桁7セグメントLCD, ppm表示		D、ppm/℃/%表示	4桁7セグメントLCD、ppm表示
74270 (-Disp 2770)	4/11/ E) / PECD, ppinger	4117 E9 70 PECI	黄色=メンテナンスサポート	黄色=メンテナンスサポート
状態表示LED	_	-	赤色=リレー閉	緑色=リレー閉 赤色=オープンコレクタアクティ
押しボタン	_	_	セットポイント、操作機能、	校正などの選択および設定
データロガー				CO、CO ₂ の内部データロガー、
テータロカー 	_	_	_	2×960データ
電気的特性:				
供給電圧		AC/DC24V±5	20%、50/60Hz	
消費電力		平均	≦3W	
			ネジ端子、バネ端子(デジタル/	
接続端子	ネジ	端子	アナログ入力)	ネジ端子、バネ端子(付加端子)
Identity 8 .	線径1.5mm ² Max(" -Slim モデ			
接続ケーブル	ル"は34cm3線ピッグテール)		線径1.5mm ² Max	
UARTコネクタ	_	_	5ピン、2.54mmピ	ッチ、スライドコネクタ
出力:				
		DTC1-	ーズ(オートリセット、信号グランド M 上)	
保護	_	PICEA		
出力制限	_			MAX値の個別設定可
OUT1(アナログ出力/リニア)	DC0~10V ^{±5} , R _{LOAD} >5kΩ	DC0∼10V ^{注5} 、R _{LO}	$_{AD}>5k\Omega$ 、(ジャンパー切替にて4~20	$0mA R_{LOAD} < 500 \Omega$
	D	C0~10V ^{注5} 、R _{LOAD} >5kΩ、(ジャン/	ペー切替にて4~20mA R _{LOAD} <5000	Ω)
OUT2(アナログ出力/リニア)		("eSFNSF-Slim =	デル"はOUT2なし)	
OUT3(リレー接点出力)	_	"-RLモデル"のみ(絶縁N.O.接点)		OC24V 1A以下(絶縁N.O.接点)
0018()2 仮派田///		-NE c / / / 0 0 0 / (和 / M / N / N · O · I 发 / N /	温度出力: -20~+60℃	オープンコレクタ出力
OUT4	_	_		
			$DC0\sim10V,R_{LOAD}>5k\Omega$	(接点定格DC55V 0.5A以下)
	OUT1: 0~2000ppm		OUT1: 0~2000ppm	OUT1: 0~100ppm CO
デフォルト出力範囲	OUT2: 0~2000ppm	OUT1: 0~2000ppm	OUT2: 0~2000ppm	OUT2: 0~2000ppm CO ₂
/ / オフレト山 / / 黒 山州		CCII. C ECCOPPIII	OCIE: O Boooppin	** 2
		OUT2: 0~50℃		OUT3: リレー出力
	(" -Slim モデル"はOUT2なし)		OUT3: リレー出力	OUT3: リレー出力
	(" -Slim モデル"はOUT2なし)		OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃	
D / A分解能	(" -Slim モデル"はOUT2なし) 10bits、10mV	OUT2: 0∼50℃	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits、10mV/0.16mA	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力
D / A分解能	(" -Slim モデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV	OUT2: 0∼50℃	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力
D / A分解能 D / A変換精度	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0∼50℃	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits、10mV/0.16mA	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル")	(" -Slim モデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力	OUT2: 0∼50℃	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits、10mV/0.16mA	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル")	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 -	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 草の±2%±50mV、電流出力: 読み値	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル")	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ⑤の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 -	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 草の±2%±50mV、電流出力: 読み値	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ⑤の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA MODBUS、SenseAirプロトコル
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注6}	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ²⁶⁶	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注6}	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 草の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6}	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オブションにてMODBUS。 ¹⁸⁶ RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 位の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6} -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{造7}	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ^{達6} ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ②の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6} -UARTケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{造7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS, SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 位の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6} -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{造7}	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks [™] ネットワーク通信	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ②の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 語 -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{は7} モデル") RS485ターミナルポート、ネットワーク通信、増設PCB、オプションに	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks [™] ネットワーク通信 入力:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ②の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6} -UARTケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{造7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 位の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注6} - UPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネットワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 its ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("- TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks TM ネットワーク通信 入力:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ②の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 語 -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{は7} モデル") RS485ターミナルポート、ネットワーク通信、増設PCB、オプションに	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS, SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ibs ライバー付
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力(" -TR モデル") UARTシリアル通信ポート : プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks [™] ネットワーク通信 入力: 入力 CO ₂ 測定:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オブションにてMODBUS。 ¹⁸⁶ RS232C ("-MB RS485 = ("-LONモデル") LonWorks™ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 位の±2%±50mV、電流出力: 読み値 つ	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ^{達8} ライバー付 ホワーク30台まで てMODBUS(aSENSE®VAV は除く
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ²⁵⁶ RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks 「Mネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA ②の±2%±50mV、電流出力: 読み値 0700xxrev3.04pdf"参照)。 □UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPパージョン4.3(以上) は7 モデル") RS485ターミナルポート、ネットワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 ^{達8} ライバー付 ホワーク30台まで てMODBUS(aSENSE®VAV は除く
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ²⁵⁶ RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks 「Mネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 意の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{は7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オブションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、 ABC(自動バックグラウンド校に方式	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 ^{達8} ライバー付 ホワーク30台まで てMODBUS(aSENSE®VAV は除く
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232℃ ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、 ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ²⁵⁶ RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks 「Mネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 意の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{は7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オブションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、 ABC(自動バックグラウンド校に方式	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 ^{達8} ライバー付 ホワーク30台まで てMODBUS(aSENSE®VAV は除く
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232℃ ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、 ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS 485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232℃ ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注6} UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッパワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 COg測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%)	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オブションにてMODBUS。 ¹⁵⁶ RS232C ("-MB RS485 ("-LONモデル") LonWorks™ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{造6} -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{造7} モデル") RS485ターミナルボート、ネットワーク通信、増設PCB、オプションに「 9-10: D11 ディレータイマー、レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO。測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%)	(*-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オブションにてMODBUS。 ¹⁵⁶ RS232C ("-MB RS485 ("-LONモデル") LonWorks™ネッ	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 意の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 注意	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{注3} 年次ゼロドリフト ^{ĩ83}	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 IEE RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks 「***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ⁱⁱ³ 年次ゼロドリフト ⁱⁱ³	(*-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 IEE RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks 「***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 意の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 注意	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 ^{造6} ライバー付 トワーク30台まで TMODBUS(aSENSE®VAV は除く - 正)アルゴリズム ^{造8}
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ta3 年次ゼロドリフト ta3 気圧依存性	(*-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ¹⁸⁶ RS232C ("-MB RS485 ("-LONモデル") LonWorks™ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ素着処理光空 拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 ^{達6} ライバー付 パワーク30台まで TMODBUS(aSENSE®VAV は除く - 正)アルゴリズム ^{徒8} 8分 ^{徒4}
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ta3 年次ゼロドリフト ta3 気圧依存性	(*-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks ^{TM ネッ} ・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits,10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf*参照)。 造6 プライバー付 アトワーク30台まで TMODBUS(aSENSE®VAV は除く - 正)アルゴリズム ²⁸⁸
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ta3 年次ゼロドリフト ta3 気圧依存性	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて <生10ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ¹⁸⁶ RS232C ("-MB RS485 ("-LONモデル") LonWorks™ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ素着処理光空 拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 (の±2%±0.3mA)
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{該3} 年次ゼロドリフト ^{達3} 気圧依存性 標準測定範囲	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて <生10ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 ^{注5} RS232C ("-MB RS485 - ("-LONモデル") LonWorks ^{TM ネッ} ・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 (の±2%±0.3mA)
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{注3} 年次ゼロドリフト ^{注3} 気圧依存性 標準測定範囲 温度測定:	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30ml/分にて <±10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks **** *** ***	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100me/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT3: リレーカー OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープロレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープロレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープレコレクタ出力 OUT4: オープレフレクタ出力 OUT4: オープレクタ OU
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{強3} 年次ゼロドリフト ^{選3} 気圧依存性 標準測定範囲 温度測定: 測定方式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて <生10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232℃ ("-MB RS485=("-LONモデル") LonWorks™ネッ - 「**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 ー SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ²⁶⁶ -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ²⁶⁷ モデル") RS485ターミナルボート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <土測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6% つ~4%、0~10%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ⁱⁱ³ 年次ゼロドリフト ⁱⁱ³ 気圧依存性 標準測定範囲 温度測定: 測定方式 測定方式 測定方式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ蒸着処理光・拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏対 0~2000ppm、オプションにて0~0.6%、(サー -20~	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注を} ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ²⁶ アライバー付 アライバー付 アライバー付 アフーク30台まで TMODBUS(aSENSE®VAV は除く - 正)アルゴリズム ²⁸⁸ 8分 ²⁴ 0~2000ppm(CO ₂)、 0~100ppm(CO)、 オプションにて0~0.6%、0~2%
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{該3} 年次ゼロドリフト ^{該3} 気圧依存性 標準測定範囲 温度測定: 測定方式 測定方式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30mℓ/分にて <生10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ蒸着処理光・拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏対 0~2000ppm、オプションにて0~0.6%、(サー -20~	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 ー SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ²⁶⁶ -UART ケーブル、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ²⁶⁷ モデル") RS485ターミナルボート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <土測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6% つ~4%、0~10%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS 485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ia3 年次ゼロドリフト ib3 気圧依存性 標準測定範囲 温度測定: 測定方式 測定方式 測定管値囲 精度/デジタル分解能	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ蒸着処理光・拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏対 0~2000ppm、オプションにて0~0.6%、(サー -20~	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注を} ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TR モデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS 485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{注3} 年次ゼロドリフト ^{注3} 気圧依存性 標準測定範囲 精度/デジタル分解能 CO測定: 測定策回	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks [™] ネッ - 示外線吸収法) 方式、アルミ蒸着処理光・拡散 2分、拡散時間 ±30ppm± 通常圧力100kPaからの偏対 0~2000ppm、オプションにて0~0.6%、(サー -20~	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注を} ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 の±2%±0.3mA MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 it is ライバー付 ハワーク30台まで てMODBUS(aSENSE® VAV は除く エアルゴリズム it is 8分 it it 0~2000ppm(CO ₂)、 0~100ppm(CO)、 オプションにて0~0.6%、0~2%
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ^{該3} 年次ゼロドリフト ^{誌3} 気圧依存性 標準測定範囲 調度剤定: 測定方式 測定第三式 制定質が多い分解能 CO測定: 測定方式 測定第三式	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30me/分にて <±10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485= ("-LONモデル") LonWorks「**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ほち	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 の±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ib5 ライバー付 ・トワーク30台まで てMODBUS(aSENSE® VAV は除く - 正)アルゴリズム ib8 8分 ib4 0~2000ppm(CO ₂)、 0~100ppm(CO)、 オプションにて0~0.6%、0~2% 電気化学式COセンサ
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ポート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO₂測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 ii3 年次ゼロドリフト ii3 気圧依存性 標準測定範囲 標準測定範囲 精度にデジタル分解能 CO測定: 測定方式 制定方式 制度方式 制度方式 精度 ii3	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30ml/分にて <±10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485-("-LONモデル") LonWorks ************************************	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 直の±2%±50mV、電流出力: 読み値 SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ^{注意} - では、スライドコンタクト、ド UIPバージョン4.3(以上) ^{注7} モデル") RS485ターミナルポート、ネッ ハワーク通信、増設PCB、オプションに 9-10: D11 ディレータイマー、 レギュレータへのスイッチ入力 学セル、ABC(自動バックグラウンド校 方式 2分、拡散時間 <20秒、チューブ接続、ガス流量 100mℓ/分にて 測定値の3% <生測定範囲の0.3% 差kPa当り読み値の+1.6% 0~4%、0~10%	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 Iの±2%±0.3mA
D / A分解能 D / A変換精度 サーミスタ出力("-TRモデル") UARTシリアル通信ボート: プロトコル PCインターフェース PCユーザーI/Fプログラム RS485ネットワーク通信 LonWorks™ネットワーク通信 入力: 入力 CO2測定: 測定方式 ガスサンプリングモード 応答時間 (T1/e、最終変動の63%) 精度 態3 年次ゼロドリフト 態3 気圧依存性 標準測定範囲 精度/デジタル分解能 CO測定: 測定方式 精度/デジタル分解能 CO測定: 測定方式 精度/デジタル分解能 CO測定: 測定範囲	("-Slimモデル"はOUT2なし) 10bits、10mV 読み値の±2%±50mV 測定温度に比例した受動抵抗出力 (Y、M)用、グランド端子(GND)と の間で出力 NDIR(非分散型が 3分、拡散時間 <10秒、ガス流量30me/分にて <±10ppm 0~2000ppm	OUT2: 0~50℃ 電圧出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 オプションにてMODBUS。 RS232C ("-MB RS485= ("-LONモデル") LonWorks「**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	OUT3: リレー出力 OUT4: -20~+60℃ 10bits, 10mV/0.16mA 塩の±2%±50mV、電流出力: 読み値 - SenseAirプロトコル("comprot 0700xxrev3.04pdf"参照)。 ほち	OUT3: リレー出力 OUT4: オープンコレクタ出力 OUT4: オープンコレクタ出力 の±2%±0.3mA - MODBUS、SenseAirプロトコル ("comprot0800xxrev1.051 pdf"参照)。 ibs ライバー付 ・トワーク30台まで てMODBUS(aSENSE® VAV は除く - 正)アルゴリズム ibs 8分 ib4 0~2000ppm(CO ₂)、 0~100ppm(CO)、 オプションにて0~0.6%、0~2% 電気化学式COセンサ

- 注1: 定格動作温度よりも低い温度で使用する場合はヒーターボックスをご用意下さい。
- 注2: SO₂(二酸化硫黄)を多く含む環境を除く。 注3: 通常のIAQ(屋内空気質)におけるもので、精度はすくなくとも3週間の連続使用後の定義です。スペン校正ガス(特に明示がない場合2%)およびテストガスの
- 許容製差が総合不確かさに加算されます。 産業用のアプリケーションによっては、定期的なゼロガスパージが必要で、これによりCO2センサの再校正が自動的に行われます。 注4: COセンサの仕様・制約によります。COセンサはCO以外の化学物質、例えばシリコンにも反応します。従って、環境によってはこの製品は適さない場合もあります。
- 注5: 記載の仕様はシステムグランドGO、GNDまたはコモン信号グランドMに接続された出力負荷に対して有効です。
- 注6: 詳細については弊社にお問合せ下さい。
- 注: センスエア社Webからフリーダウンロードできます。 注: ABCはメンテナンスフリー測定のキー機能です。この機能は多少なりとも換気のある(少なくとも一週間に何時間か)通常のIAQ(屋内空気質)を想定しています。

機器組込み用ローコスト、メンテナンスフリーCO2センサモジュール

CO2Engine®はCO2濃度の測定データを必要とする量産ホスト 機器への組み込みを前提として開発されたローコスト、メンテナ ンスフリーのCO₂センサモジュールです。標準(デフォルト)仕様 をベースに、ユーザーの発想力と仕様のカスタム化により、IA Qモニター機器、空調関連機器、CO2アラーム機器その他様々 なOEM機器・装置への組込み用センサモジュールとして多彩 な用途を実現します。CO₂Engine®は製品の量産単価のみなら ず、CO2濃度測定にかかわる開発ならびに量産立上げ費用を 著しく低減します。

- 特許(JP3990733)取得済みNDIR方式CO₂センサ
- 標準測定範囲0~5000ppm(K30)、0~30%(K33)
- コストパフォーマンスの高い量産コスト
- コンパクトサイズ51×57×12.5mm(K30)、51×57×20mm(K33)
- 通常のIAQ(屋内空気質)環境ではメンテナンスフリー
- アナログ出力に加え、シリアル通信ポートを標準装備
- 自動自己診断機能内蔵
- 量産オプションにてリレー出力、RS485など



030-8-0006 CO₂Engine® K30



CO₂Engine[®]K33 033-9-0006

CO₂センサモジュール CO₂Engine[®] K30 K33 のテクニカルデータ

	CO₂Engine® K30			CO ₂ En	CO₂Engine [®] K33	
A/N	EQC: 030-8-0006	FR: 030-8-0010	2%:030-7-0001	ICB: 033-9-0001	ICB-F: 033-9-0006	
一般性能:		1			*	
保存温度範囲	-30∼+70°C			-40~+70°C		
予測センサ寿命	>15年 >3年		>15年			
メンテナンスインターバル		1	メンテナンス不要 注1			
自己診断			センサモジュールの機能チェッ	ク		
ウォームアップ時間		1分		≦1分		
規格適合性	放射EN61000-6	5-2:2007、イミュニティEN61	1000-6-3:2007、	EN61326-1(2006) ClassB		
		RoHS指令2002/95/EG		RoHS指令2002/95/EG		
動作温度範囲		0~+50℃		0~	+50°C	
動作湿度範囲			0~95%RH(結露なきこと)			
動作環境	一般居住	、商業、産業の屋内環境および	び条件によりHVAC(ヒーティン	グ、換気、空調)業界の空気ダ	クトなど ^{注2}	
電気・機械的特性:						
供給電圧 注3	DC4.5~14V	7、5%以内の安定化電源(外	部保護回路要)		%以内の安定化電源 護回路要)	
	平均40mA、ピーク電流		平均40mA、ピーク電流			
消費電流	<100mA	平均70mA	<100mA	平均40mA、ピ [、]	ーク電流<250mA	
電気接続	1001111	別	途詳細資料による			
外形寸法(L×W×H)	が成立中和貝付による 51×57×12.5mm			51×57×20mm		
CO ₂ 測定:						
動作原理	NDIR(非分	散型赤外線吸収法)方式、ア	ルミ蒸着処理光学セル、 ABC	(自動バックグラウンド校正)ア	ルゴリズム ^{注4}	
ガスサンプリングモード	拡散方式		拡散	送流方式		
応答時間(最終変動の63%)	20秒、拡散時間	2秒(ガス流量0.5L/分)	20秒、拡散時間	<20秒	<20秒(ガス流量0.2L/	
測定範囲	0~8	5000ppm	0~2% _{VOL}	0~	30% _{VOL}	
拡張測定範囲	5000~.10	0000ppm	0~4%vol	_		
(デジタル出力のみ、表記精度外)	3000 -10		0 -4/0VOL	_		
再現性 注1		± 20 ppm $\pm 1\%$ rdg		±0.1%voL±2%rdg		
精度 注1	±30ppm	±3%rdg	±300ppm±3%rdg	±0.5% _{VOL} ±3%rdg		
気圧依存性		通常圧力	100kPaからの偏差kPa当り、-	-1.6%rdg		
オンボード校正トリガー端子		Din1: 4	400ppmCO₂でのバックグラウン	ド校正認識用		
(外部からのスイッチ入力)	Din1: 400ppinCO ₂ でのゼロ校正認識用					
信号出力: 注5						
旧号田刀: ロックス変換精度	出力値の±2%±20mV -		モジュールの構成による			
リニアアナログ出力	西万龍の主2%主20mV - DC0~4V=0~2000ppm DC1~4V=0~2%		DC1 = 4V=0 = 20/	30,710 212		
OUT1 D/A分解能·電気的特性	モジュールの種のど		の構成による			
リニアアナログ出力						
OUT2 D/A分解能·電気的特性	$DC1\sim 5V=0\sim 2000 \text{ppm}$ $DC1\sim 4V=0\sim 2\%$ 5mV , $R_{\text{OM}}>100 \text{k} Ω$, $R_{\text{OM}}>5 \text{k} Ω$		モジュール	の構成による		
OUT3	デジタル (High / Low) 出力、800/700ppm -		_			
OUT4	デジタル (High / Low) 出力、1000/900ppm -		_			
シリアル通信: ^{注5}	/ 27/r (111gil / LOW	/ дд/л, 1000/ 300ррш				
プロトコル		MO	DBUSオープンプロトコル (U.	ART)		
				0		
ハードウェアインターフェース	UART, I ² C	II.	ART	Τ Τ Δ Τ	RT、I ² C	

- 注1: 通常のIAQ (屋内空気質) におけるもので、精度はすくなくとも3週間の連続使用後の定義です。産業用のアプリケーションによっては、定期的なゼロガスパージが 必要で、これによりCO₂センサの再校正が自動的に行われます。 SO₂(二酸化硫黄)を多く含む環境を除く。
- 注2:
- 製品は記載の定格電圧の範囲内でご使用下さい。 注3:
- ABCはメンテナンスフリー測定のキー機能です。この機能は多少なりとも換気のある(少なくとも一週間に何時間か)通常のIAQ(屋内空気質)を想定しています。
- 注5: 標準外の仕様をご希望の場合は弊社にお問合せ下さい。



CO2センサモジュール



センスエア社20年の開発・量産実績が世界最小のNDIR 方式CO2センサモジュール "S8"に結実。高精度、メンテ ナンスフリー、低消費電力など秀逸な性能を提供します。 空調、空気衛生、省エネ、バイオなど用途は広範です。

- ■NDIR(非分散型赤外線吸収法)方式CO2センサモジュール
- ■超小型サイズ: 33.5×20×8.5mm、61×20×8.5mm
- ■超軽量: 重量約8g、約10g(S8-4B)
- ■測定範囲0.04~0.2%、0.04~2%または0.04~3.2%
- ■UART-Modbus・オープンコレクター・PWM出力(S8-4Bを除く)
- ■"ABC"補正機能、センサ予測寿命>15年(S8-4Bは>5年)
- ■電源電圧DC4.5V~5.25V(S8-4BはDC5V~7.0V)

CO₂センサモジュールS8のテクニカルデータ

	S8 A/N 004-0-0013 ^(注 6)	S8 A/N 004-0-0050 ^(注 6)	S8-4B A/N 004-0-0024 ^(注 6)	
外観	оториал	CESTION OF CHARLES		
対象ガス		CO ₂ (二酸化炭素)	I.	
動作原理	NDIR(非分散型赤外線吸収法)	方式、アルミ蒸着処理光学セル、ABC(自動	バックグラウンド校正)アルゴリズム	
ガスサンプリングモード		拡散方式		
測定範囲	400~2000ppm ^(注A1) 拡張測定範囲0~10000ppm ^(注A2)	0.04~2% _{VOL} (注B1) 拡張測定範囲0~3.2% _{VOL} (注B2)	400~32000ppm	
精度	±70ppm±測定値の3% ^(注A3, A4)	±0.02% _{VOL} ±測定値の3% ^(注B3, B4)	7000~9000ppmのアラーム点にて ±1000ppm ^(注C4)	
応答時間				
動作温度範囲	+5~+30°C	0~+50°C	-5~+50°C	
動作湿度範囲	0~85%RH(結露なきこと)		0~95%RH(結露なきこと)	
保存温度範囲	-40∼+70°C			
外形寸法(mm)	33.5×	61×20×8.5		
重量	約8g		約10g	
供給電圧	DC4.5~5.25V サージ、逆接に対して非保護		DC5~7.0V サージ、逆接に対して非保護	
消費電流	ピーク電流300mA、平均30mA		ピーク電流250mA、平均2mA	
センサ期待寿命	>15年(通常の居住・商業環境にて)		>5年(通常の居住・商業環境にて)	
規格適合性	放射EN61000-6-3:2007、EN6	-1:2007、RoHS規格2011/65EU		
シリアル通信	UART、MODBUSオープン	プロトコル ^(注A5) 、CTS出力付き	_	
アラーム出力、 オープンコレクタ	Alarm state open CO ₂	Alarm state open CO ₂	Normally open CO ₂	
	1000/800ppm、常時閉、Max.100mA。 CO ₂ 濃度高・電圧低・センサ不良により トランジスタオープン	8500/6500ppm、常時閉、Max.100mA。 CO ₂ 濃度高・電圧低・センサ不良により トランジスタオープン	8000/6500ppm、常時開、 CO ₂ 濃度高・電圧低・センサ不良により トランジスタクローズ	
PWM出力、1kHz	0〜2000ppmに対する デューティサイクル0〜100% 3.3VプッシュプルCMOS出力、非保護	0~2%VOLに対する デューティササイクル0~100% 3.3VプッシュプルCMOS出力、非保護	_	
メンテナンス	センスエアABC機能使用により、通常室内用途ではメンテナンスフリー		強制校正(400ppm曝気と仮定して)	

センサは400~2000ppmの測定範囲において定格精度で測定するように設計されていますが、400ppm未満の濃度にさらされた場合、 注A1: ABCアルゴリズムの誤動作の原因となります。ABCアルゴリズムを使用する場合は、400ppm未満の濃度への露出は避けて下さい。

センサは0~20000ppmの測定範囲において定格精度で測定するように設計されていますが、400ppm未満の濃度にさらされた場合、

ABCアルゴリズムの誘動作の原因となります。ABCアルゴリズムを使用する場合は、400pm未満の濃度への露出は避けて下さい。 センサは拡張測定範囲の読み値をUARTで提供しますが、定格測定範囲外の精度は定格精度の範囲外となります。 通常のIAQ(屋内空気質)における精度です。精度は、ABCアルゴリズム使用により、少なくとも3週間の連続使用後の定義です。但し、 注A2·注B2:

注A3:

産業用のアプリケーションによっては、メンテナンスが必要となる場合があります。詳細は弊社にお問合せ下さい。 センサは少なくとも4週間おきに新鮮な空気にさらされる必要があります。精度は、ABCアルゴリズム使用により、少なくとも5週間の連続使 注B3:

用後の定義です。 個し、産業用のアプリケーションによっては、メンテナンスが必要となる場合があります。 詳細は弊社にお問合せ下さい。 表記精度は定格動作温度範囲内におけるものです。 精度・仕様は証明を受けた校正混合ガスを基準としています。 絶対測定精度には センサの定格精度に校正混合ガスの不確かさ (現行±2%) が定格に加算されるものとします。 注A4·注B4·

注C4:

詳細についてはセンスエア仕様書(Modbus on SenseAir_R_ S8 rev_P11_1_00.doc preliminary specification)をご参照下さい。 注A5: 注6:

センサの本体部分(OBA)にはいかなる状態においても力を加えないで下さい。故障または性能劣化の原因となります。センサの取扱いは常にはPCB部を保持して行って下さい。また、センサの取扱い時は十分な静電気放電防止の対策を講じて下さい。

株式会社 サカキコーポレーション

電話 06-6608-7800 FAX 06-6608-7799 Email: sales@sakakicorporation.co.jp URL: http://www.sakakicorporation.co.jp

March 2014